

## 平成14年度弁理士試験論文式筆記試験問題

### [ 資源生物学 ]

- 1 . 水産資源の管理における許容漁獲量制度のうち、“オリンピック方式”と“個別割当方式”について説明し、それぞれの得失を論ぜよ。

【20点】

- 2 . 以下の語句を簡単に説明せよ。

【30点】

( 1 ) BSE

( 2 ) ベントス

( 3 ) ( 水産資源に関する ) K 値

( 4 ) 塩類土壌

( 5 ) トリブチルスズ

( 6 ) ファイトマス(phytomass)

## 論点 [ 資源生物学 ]

- 1 . 水産資源の持続的利用を確保することの重要性を認識しこれを実現する方式の理解を問う。オリンピック方式、個別割当方式それぞれを説明し、前者の基本的に自由競争である点と後者の事前割当方式に起因する得失を議論する。その過程で譲渡性個別割当方式についても言及することや海洋生態系の維持と資源利用の観点を背景として議論することが期待される。
- 2 . いずれも、資源生物学を理解する上で重要な用語で、時事用語としても目にすることがある。資源生物学への日常の関心と取り組みを問う問題。一般的な用語集等を参照されたい。